



學 穂

令和6年度 広州日本人学校
学校だより No.13
令和7年2月21日
発行責任者 校長 大久 耕

後期の教育活動について（保護者アンケートから）

後期の保護者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。結果を集計、分析し、今後の教育活動に生かしてまいりたいと思います。（数値は、AまたはBだった回答の割合）

(1)自ら学ぶ子の育成	R5後期	R6前期	R6後期
1 学校は基礎的・基本的な学力の定着を図っている。	95.2	98.7	97.5
2 学校は、自分の考えを発信する力をつけるための工夫を行っている。	94.4	94.1	97.1
3 学校は話し合い活動や、作品発表会などの工夫した指導を積極的に取り入れている。	95.6	96.2	98.0
4 学校は家庭学習の推奨や、その指導の工夫を積極的にしている。	88.0	87.4	86.1
5 学校は読書を推奨している。	83.7	80.8	84.0
6 お子さんは学校の授業は分かりやすいと言っている。	85.1	88.3	91.4

この項では、「授業の分かりやすさ」の向上が、基礎的・基本的学力の定着に結びついているものと考えています。これからも「分かる授業・楽しい授業」となるように、努めていきます。

家庭学習の進め方については、学年ごとに発達段階に応じた方法で進めています。家庭学習が児童生徒により有益となるよう、取り組む課題や進め方の指導も丁寧に行ってまいります。また、デジタル教材の効果的な活用についても、さらに考えていきたいと思ひます。

(2)個性豊かな子の育成	R5後期	R6前期	R6後期
7 学校全体に活気があり、子ども達が生き生きと活動している。	95.2	96.2	95.9
8 学校は一人一人の個性を大切に、伸ばそうとしている。	90.7	92.1	90.2
9 学校は子どもたちの夢を大切に、将来を見通した教育をしている。	86.6	85.8	86.1
10 学校はお子さんの能力や努力を適切・公平に評価している。	94.8	92.1	93.9
11 学校は命の大切さや人権を尊重する意識を指導している。	93.1	88.3	92.6
12 学校は児童生徒の個性や良さを伸ばすための行事などの工夫を行っている。（音楽発表会、朝集会、委員会活動、クラブ活動等）	94.4	95.4	95.9

前期にやや数字が下がっておりました「命の大切さや人権」については、評価をいただきました。次年度につきましては、全学級で授業参観において「道徳」の授業を取り上げ、実際の指導の様子を保護者の皆様にもご覧いただきたいと考えております。また、広州の日本企業等とも連携を図りながら、キャリア教育のさらなる充実にも努めてまいります。

(3)国際社会に生きる子の育成	R5後期	R6前期	R6後期
13 学校は進んであいさつをする態度を育てている。	96.8	90.4	91.0
14 学校は適切な言語環境を育てるため、丁寧な言葉遣いの指導をしている。	96.7	87.4	86.1
15 学校は、児童生徒の指導において大型提示装置（プロジェクター、電子黒板）やタブレット端末等のICTを活用した授業の工夫を行っている。	98.6	95.0	97.1
16 学校は英語や中国語指導、異文化交流などを通して国際性を育てている。	95.8	96.7	92.2
17 学校はねばり強く最後まで頑張ることのできる児童生徒の育成をしている。	94.8	87.9	85.2

前期に引き続き「14 丁寧な言葉遣い」について、厳しい評価をいただきました。記述欄のご意見を見ていくと、「友だち同士の会話やゲーム中の言葉遣いが気になる」といった意見が寄せられています。言葉遣いは、相手への思いやりでもあります。学校での指導はもちろんのこと、ご家庭とも協力を図りながら指導を進めてまいりたいと思ひます。

「粘り強さ」につきましては、無回答のご家庭が最も多くあった項目です。学校での様子を伝えきれていない面もあるかと思ひますので、学級通信、学校だより等で、児童生徒の様子を的確に伝えられるようにしていきたいと思ひます。

(4)健康・体力・安全・その他	R5後期	R6前期	R6後期
18 学校は児童生徒の体力の育成のため、各種取り組みをしている。	84.3	76.6	73.4
19 学校は校内の衛生面や感染対策等に気を付け、健康な環境づくりをしている。	95.4	92.9	90.2
20 学校は校内の安全点検・整備を行い、安心安全な環境づくりをしている。	94.9	92.5	92.2
21 学校は教室内の掲示物やロッカーの整理整頓に努め、学習環境を整えている。	98.1	92.9	95.1
22 学校はいじめの未然防止、早期発見・早期解決に努め、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいる。	92.2	86.2	88.5
23 学校は児童生徒及び保護者からの相談に適切に応じている。	96.2	94.1	94.7
24 学校は保護者を学校に迎え入れる雰囲気をつくっている。	95.4	97.1	97.5
25 学校は授業参観及び懇談会、通信、ホームページ、ロイロノート等を通して、教育方針や学校、子どもの様子を保護者に伝えている。	96.8	95.0	98.0

子供たちの体力向上に向けた取組は、保護者、教師、児童生徒ともに引き続き本校の課題となっております。厳しい気候条件の中でも、運動や遊びを通して体を動かす機会が持てるよう、施設面も含めて検討を続けてまいりたいと思います。

いじめ防止等に関しましては、「無回答」となったご家庭が多くありました。児童生徒、保護者の皆様が相談ができる体制は整えておりますが、十分な周知がなされていないことなども原因と考えられますので、今一度情報を整理し、対応を強化してまいりたいと思います。

(5) その他（行事等アンケートの自由記述から）

① ロイロノートでの発信について

アップされるフォルダが分かりづらいというご意見が多くありました。アップした場所をお知らせするなど、ご家庭に必要な情報が適切に伝えられるよう、次年度は進めてまいります。ペーパーレス化については、今後も続けてまいりますのでご理解をお願いいたします。

② 交流活動・国際理解教育について

コロナ以降、少しずつ現地の学校との交流を再開しております。回数につきましても、次年度は増やしていく予定であります。また、語学の指導と交流活動を関連させることで、学ぶ意欲や実践力を高めてまいります。

③ ICTの活用とノート指導について

ノートを書き写す習慣や作文を書く回数が減少しており、心配であるといった意見が複数ありました。ICT機器（タブレット）の活用だけに頼らず、子供たちが「書く」機会を確保できるよう校内で共通理解を図り学習を進めてまいります。

※ その他、多くの保護者の皆様から教員に対するねぎらいの言葉をいただきました。改めて、皆様から頂いているご理解とご協力に感謝申し上げます。



～ 学校長日記 ～

アンケートにもありますが、在外教育施設においては、読書指導の大切さがどの学校でも言われています。日本国内にいれば、意識しなくても様々な日本語が聞こえてきますし、目にも入ってきます。しかし、ここ中国では、“漢字”は目にするものの、それは決して日本語ではありません。

子供たちの“気になる言葉遣い”についても、美しい日本語や正しい日本語に触れる機会が少ないことも一因であろうと思っています。もちろん、子供たちと接する大人は、最大の環境です。私たちが日頃から子供たちに良い言葉を与えていかななくてはなりません。その方法の一つが読書なのでしょう。

私が若い頃に、イギリスの魔法使いの少年をテーマにした本が、世界的に爆発的なヒットを記録しました。近年は、そのような本がなかなかありません。時勢の勢いを借りられない時代に、読書への興味をどうすれば高めていけるのか。教員とともに考えていきたいと思っています。

日産自動車様から、図書の寄贈がありました。大切に読ませていただきます。ありがとうございました。